

#### 問合せ先

警備救難部 国際刑事課  
専門官 竹内(たけうち):密輸担当  
不法入国対策官 横田(よこた):密航担当  
Tel 03-3591-6361(内線)5502、5504  
直通 03-3581-1701

平成21年1月26日  
海上保安庁

## 平成20年における密輸及び密航取締り状況について

### 末端価格約180億円に上る大量覚せい剤密輸入事件を摘発

平成20年における、薬物・銃器事犯の摘発件数は、22件であった。

薬物・銃器の密輸事件としては、当庁として過去2番目の押収量(約298.68キログラム、末端価格約180億円)となる、船舶を利用した大量覚せい剤密輸入事件を摘発した。

また、薬物・銃器以外の密輸事件では、5,000枚を超える偽造クレジットカード原板無許可輸入事件や偽造100円硬貨の密輸入事件といった関税法違反事件を摘発した。

薬物・銃器事件ともに依然としてロシア人船員が関与するものが過半数を占めているという特徴が認められ、薬物事件では船員の自己使用目的と認められる大麻所持事件を多く摘発した。

### 日韓を舞台とした国際的密航斡旋組織の首謀者を国際手配

平成20年における不法出入国事犯の摘発件数は9件で、摘発した不法出入国者と手引者の数は計40名であった。

主なものとしては、不法入国者の受け取りと不法出国者の引渡しを同時に行う一連の韓国人密航事件を摘発し、国際的密航斡旋組織の韓国人首謀者を国際手配したほか、平成11年以降摘発のなかった、ロシアルートによるイラン人不法入国事件を摘発した。

平成20年の密輸及び密航の取締り結果は、関係機関との連携強化や一般市民に対する啓発活動の実施といった情報収集分析体制の強化、外国船舶に対する立入検査等の水際における監視・取締りの徹底等の各施策を強力に推進してきた効果が現れてきているものと考えられ、引き続き、徹底した水際対策を推進していく。

## I 密輸取締り状況

### 1 末端価格約180億円に上る大量覚せい剤密輸入事件を摘発

当庁として過去2番目の押収量（約298.68キログラム、末端価格約180億円）となる、船舶を利用した大量覚せい剤密輸入事件を摘発

### 2 5,000枚を超える偽造クレジットカード原板無許可輸入事件等の摘発

薬物・銃器以外の密輸として、偽造クレジットカード原板無許可輸入事件、偽造100円硬貨密輸入事件を摘発

### 3 ロシア人船員の高い関与率

ロシア人船員が関与したものが、総摘発件数中の6割強

#### 1. 取締り状況（参考資料「最近における薬物・銃器事犯の摘発状況等」参照）

- (1) 平成20年の薬物・銃器事犯の摘発件数（注<sup>1</sup>）は22件であった。
- (2) 平成20年に当庁が関与した薬物の摘発件数（注<sup>1</sup>）は21件であり、覚せい剤約308.38kg等を押収した（平成19年に比べ、4件の減少）。
- (3) 銃器の摘発件数（注<sup>1</sup>）は、1件であり、けん銃実包1発を押収した（平成19年に比べ5件の減少）。
- (4) その他、中国人船員による偽造クレジットカード原板無許可輸入事件、中国人船員による偽造100円硬貨密輸入事件といった関税法違反事件を摘発した。

#### 2. 特徴（参考資料「平成20年の主要事件概要（密輸）」参照）

##### ① 大量覚せい剤密輸入事件を摘発

11月、インドネシア人船員及び荷受人の日本人が関与した、貨物船船内の隠し部屋に巧妙に隠匿していた大量の覚せい剤密輸入事件を摘発した。

これは、当庁として過去2番目となる押収量（約298.68キログラム、末端価格約180億円）である。

##### ② 関税法違反事件の摘発

海上保安庁では、薬物・銃器以外の密輸事件として、警察及び税関と連携し、6月、中国人船員が5,009枚に及ぶ偽造クレジットカード原板を無許可輸入した事件、10月、中国人船員が中国国内で入手した偽造100円硬貨を密輸入した事件といった関税法違反事件を摘発し、偽造通貨等の国内流通を水際で阻止した。

注<sup>1</sup>：海上保安庁が単独又は他機関と合同で摘発した事件の数

### ③ ロシア人船員の高い関与率

薬物・銃器事犯においては、従来からロシア人船員が関与した事件数が全体の多くを占めていたところ、平成20年にあっても総摘発件数22件の6割を超える14件にロシア人船員が関与していた。

摘発の端緒としては、総摘発件数の8割近い17件を外国籍貨物船に対する立入検査等により船内等から摘発している。

また、犯行形態としては、薬物・銃器が船内の居室等に隠匿されていたもの或いは船員が着衣や所持品の中に隠匿していたものが多い。

ロシア人船員の関与率が高い理由としては、海上保安庁の取締りに必要な要員の確保、ロシア船に対する徹底した立入検査等取締り体制の強化に加え、ロシア人船員の法令順守の意識の低さやロシア国内での大麻等の入手の容易さが主な要因として考えられる。

摘発した事件の大半がロシア人船員による自己使用目的の大麻所持事犯と認められるが、これら船員による密輸の可能性も否定できず、我が国への薬物・銃器の流入を水際で阻止する必要性からも、引き続きロシア人船員による犯行には十分な警戒が必要である。

#### ・ロシア人船員が関与した薬物・銃器事犯の摘発件数

年	薬物事犯	銃器事犯	合計	総摘発件数
平成16年	8	2	10	19
平成17年	7	1	8	9
平成18年	13	1	14	22
平成19年	16	4	20	31
平成20年	14	0	14	22

#### ※ 参考資料

- 最近における薬物・銃器事犯の摘発状況等
- 最近の主な薬物・銃器事犯摘発の状況
- 平成20年の主要事件概要（密輸）

## 最近における薬物・銃器事犯の摘発状況等



### 1. 薬物事犯の摘発状況

区分	年別	15年	16年	17年	18年	19年	20年
摘発件数(注)		13	16	8	20	25	21
押  収  量	覚せい剤	1.9kg	109.8kg	0	9.6kg	51.4kg	308.38kg
	大 麻	5.2kg	0.2kg	0.3kg	12.4kg	0.08kg	0.023kg
	麻 薬	0	0.002kg 4997錠	0.002kg	0	0.0002kg	0.0003kg
	あ へ ん	4.2kg	0.0004kg	0	0	0	0

(注) 当庁が単独又は他機関と合同で薬物を摘発した事件の数(2も同様)

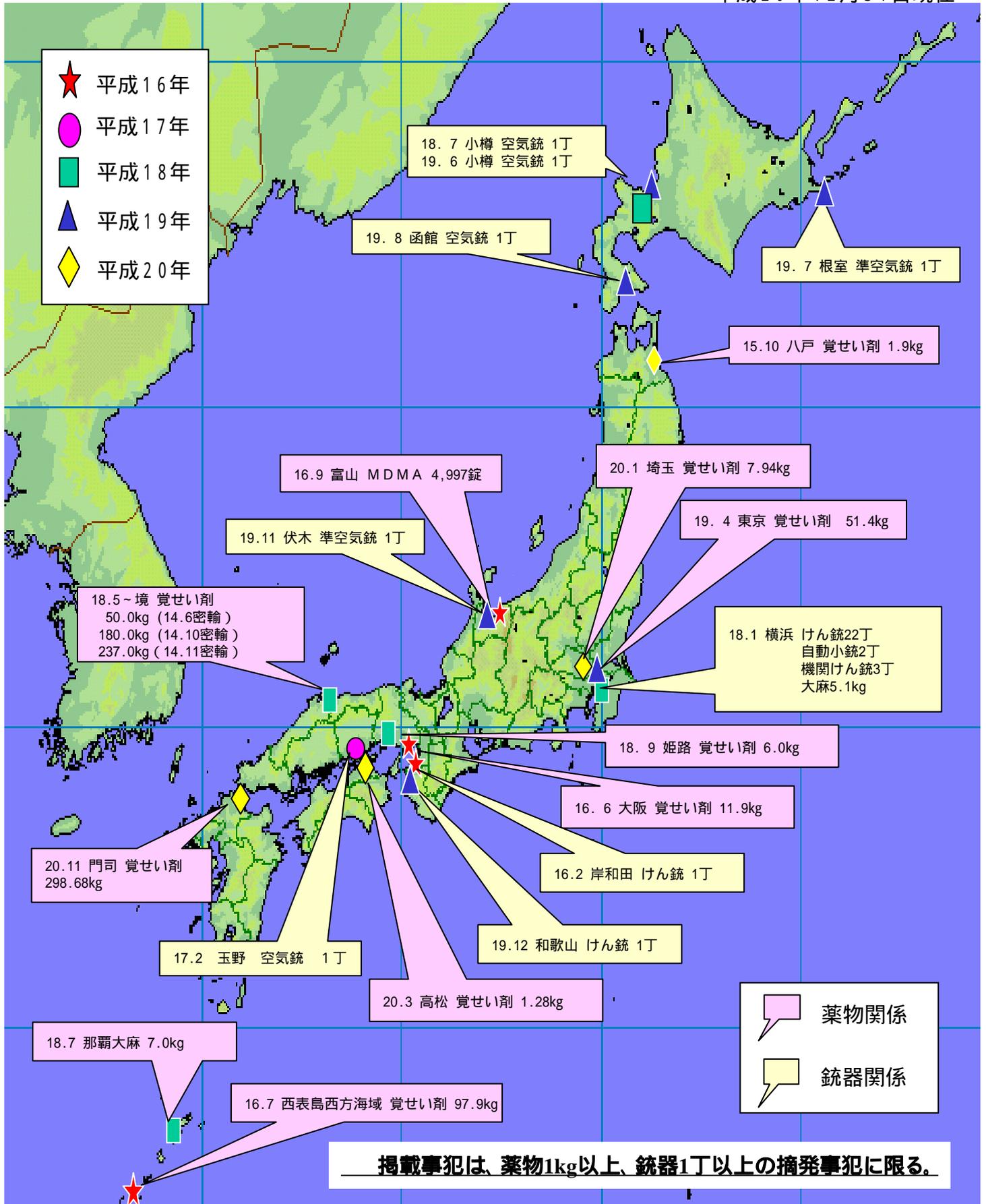
### 2. 銃器事犯の摘発状況

区分	年別	15年	16年	17年	18年	19年	20年
摘発件数(注)		4	3	1	2	6	1
押  量	銃砲(丁)	4	1	1	28	3	0
	けん銃	2	1	0	22	1	0
	準空気銃等	0	0	0	0	3	0
	実包(発)	75	6	0	791	0	1

模造けん銃を含む

# 最近の主な薬物・銃器事犯摘発の状況

平成20年12月31日現在



## 平成20年の主要事件概要（密輸）

### 1. シェラレオネ籍貨物船 UNIVERSAL 乗組員による大量覚せい剤密輸入事件

11月、門司海上保安部等は、警察、税関、麻薬取締官事務所と合同で、門司港田野浦岸壁に着岸中のシェラレオネ籍貨物船「UNIVERSAL」（総トン数1,195トン、インドネシア人12名乗組み）に対する捜索差押えを実施し、船内から覚せい剤約298.68キログラム（末端価格約180億円）を発見、押収し、同船船員12名全員と荷受人の日本人2名を覚せい剤取締法違反で逮捕した。



シェラレオネ籍貨物船「UNIVERSAL」



押収した覚せい剤

### 2. シェラレオネ籍貨物船 HENG FENG 乗組員による関税法違反被疑事件

6月、蒲郡海上保安署等は、税関と合同で、三河港蒲郡岸壁に着岸したシェラレオネ籍貨物船「HENG FENG」（総トン数1,441トン、中国人10名乗組み）の乗組員2名を、5,009枚に及ぶ大量の偽造クレジットカード原板の無許可輸入容疑で逮捕した。



押収した偽造クレジットカード原板



偽造クレジットカード原板の一部

### 3. 中国貨物船 TIAN YUN 乗組員による偽造 100 円硬貨密輸入事件

10月、水島海上保安部等は、警察から偽造 100 円硬貨行使事件の情報提供を受け、船員の関与が高いと思料されたことから捜査に着手し、中国貨物船「TIAN YUN」の中国人船員による容疑が濃厚となったことから、釜石港に入港した該船に対し捜索差押えを実施、船内に隠匿された偽造 100 円硬貨 96 枚等を発見し、同船甲板員を警察が偽造通貨行使で逮捕、当庁は関税法違反（禁制品の密輸入等）で送致した。



中国籍貨物船「TIAN YUN」



押収した偽造 100 円硬貨

### 4. カンボジア籍貨物船 SINARA 乗組員による大麻不法所持事件

12月、小樽海上保安部は、警察、税関と合同で、小樽港に着岸したカンボジア籍貨物船「SINARA」（総トン数1,255トン、ロシア人10名乗組み）の立入検査を実施中、同船居住区において大麻を発見し、この大麻を所持していたことを認めた二等機関士を大麻取締法違反（不法所持）で逮捕した。

また、通常逮捕後の身体検査において、同人の股間に隠匿された、ビニール袋に包まれた鶏卵状の大麻を発見した。



船上で押収した大麻



身体検査時に発見した大麻

## II 船舶利用の不法出入国取締り状況

### 1 日韓を舞台とした国際的密航斡旋組織の韓国人首謀者を国際手配

韓国籍貨物船による韓国人不法出入国事件で摘発した密航ブローカーが、平成19年の韓国人密航情報に基づき内偵捜査を続けていた韓国人密航ブローカーと同一であることが判明し、同ブローカーの摘発から事件の全容を解明、両事件に関与していた国際的密航斡旋組織の韓国人首謀者を割出し、国際手配した。

### 2 ロシアルートによる潜在的なイラン人の不法入国が判明

かねてから噂がありながらも、平成11年を最後に摘発がなかったロシアルートによるイラン人の不法入国事件を摘発した。

## 1. 取締り状況 (参考資料「船舶利用の不法出入国事件摘発状況」参照)

- (1) 平成20年に当庁が摘発(警察と合同で摘発したものを含む。以下同じ。)した船舶利用の不法出入国事件は9件、不法入国者は8名、不法入国手引者は19名、不法出国者は3名、不法出国手引者は10名であり、平成19年と比べ、摘発件数は2件増加、不法入国者は10名減少、不法入国手引者は12名、不法出国者は3名、不法出国手引者は5名増加した。
- (2) 近年の船舶による不法出入国事犯の手口については、過去多発したコンテナ内への潜伏や隠し部屋等に大量の密航者を隠匿する手法から、高速小型船を仕立てたもの、貨物船に少人数で潜伏するもの、偽変造船員手帳を利用するものへと手法が変化しており、平成20年に摘発した各事件についても同様の手口が認められ、依然として小口化・巧妙化が進んでいる。

## 2. 特徴 (参考資料「平成20年の主要事件概要(密航)」参照)

### ① 日韓を舞台とした国際的密航斡旋組織の韓国人首謀者を国際手配

退去強制の前歴を有する韓国人及び我が国に不法滞在する韓国人は、正規の手続きでは我が国へ出入国できないことから、国内外の密航ブローカーに依頼し、船舶により不法出入国を繰り返す実態が判明している。

これら密航ブローカーの手引きにより繰り返される不法出入国事件の手口は、年々巧妙化の傾向にあり、平成20年5月に摘発した山口県宇部港における韓国籍貨物船「EVER MASAN」韓国人不法出入国事件(以下「E号事件」という。)においては、同船船員が、平成16年からテロ対策の一環として強化された港湾施設のゲート(出入りのチェックを実施)通過時に、他人の乗員上陸許可書を利用し、不法入国者と不法出国者の数を合わせて警備をすり抜ける巧妙な手法が明らかとなっている。

また、平成19年9月に佐賀県呼子港において発生し、韓国において摘発された高速小型船を利用した韓国人密航情報に関して、日本国内において不法出国者を手引きした韓国人密航ブローカー2名を割り出し、内偵捜

査を続けていたところ、E号事件で不法入国者を隠避したとして摘発した韓国人密航ブローカーが、そのうちの1名であることが判明し、韓国人密航ブローカー2名を摘発したほか、同2名を操っていた密航斡旋組織の韓国人首謀者を特定し、国際手配を行った。

両事件とも、一度に不法入国者と不法出国者の受渡しを行っており、平成20年における不法入国及び不法出国の摘発手引者数は、過去5年間で最多の29名であった。

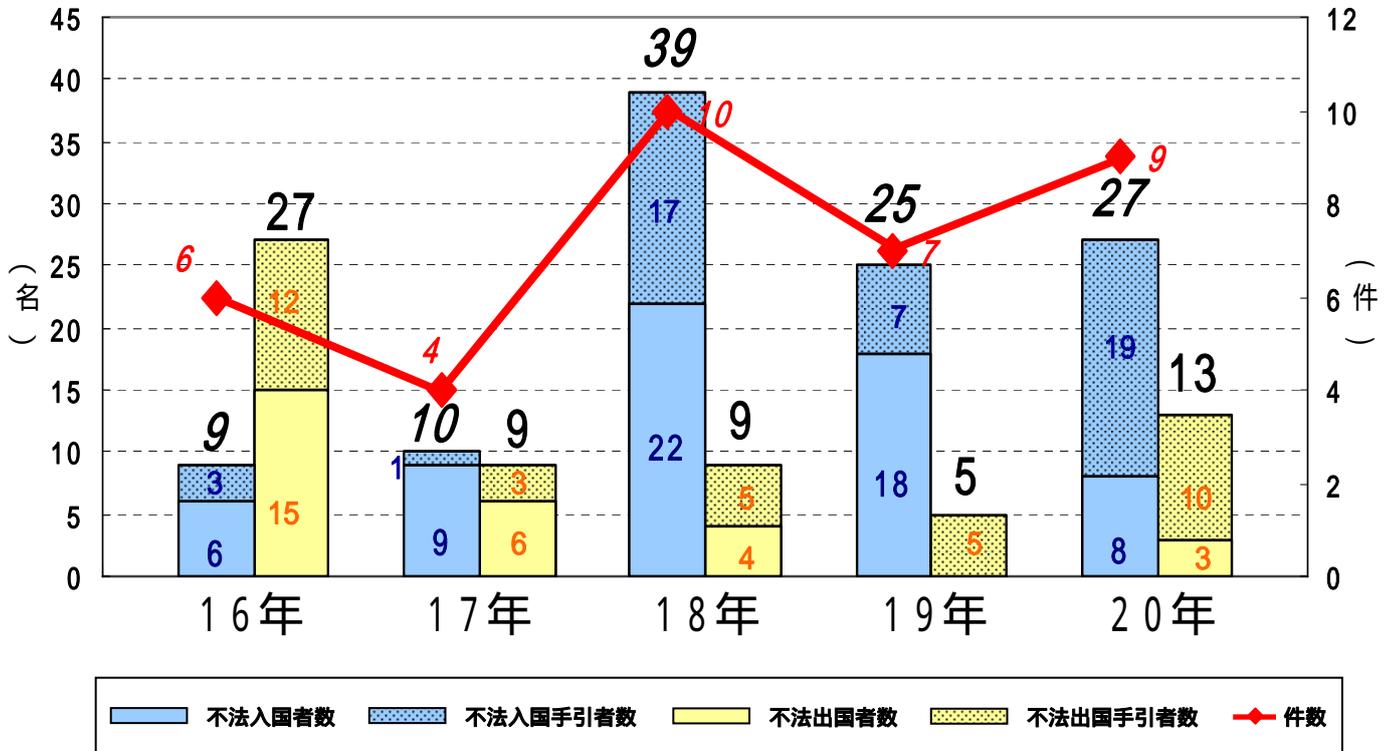
## ② ロシアルートによる潜在的なイラン人の不法入国が判明

ロシアルートによるイラン人の不法入国事件については、かねてから噂がありながらも平成11年を最後に摘発がなかったが、平成20年6月に摘発した事件において、正規の手続きで我が国に入国できないイラン人が、一旦ロシアに正規手続きにより入国し、ロシア国内の密航斡旋ブローカーの手引きにより貨物船に潜伏し、不法入国したことが判明。ロシアルートによるイラン人の不法入国が行われていることが明らかとなった。

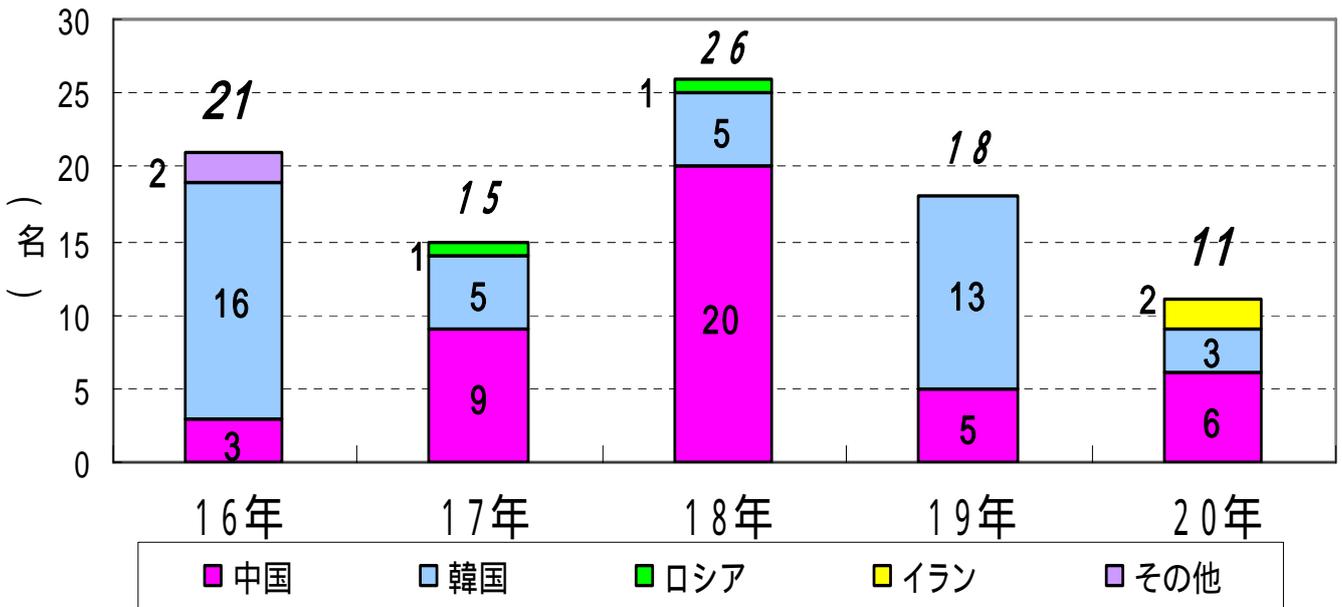
### ※ 参考資料

- 船舶利用の不法出入国事件摘発状況
- 平成20年の主要事件概要（密航）

## 船舶利用の不法出入国事件摘発状況



## 船舶利用の不法出入国者国籍別摘発状況



(注) ・表の数値は海保単独又は警察と合同で摘発したものを示す  
 ・不法入国者数には不法上陸者数を含む

## 平成20年の主要事件概要（密航）

### 1. 佐賀県呼子港及び山口県宇部港における韓国人不法出入国事件

5月、門司海上保安部宇部海上保安署は警察から不法入国者等逮捕の通報を受け、同情報に基づき不法入国者及び不法出国企図者運搬の容疑船舶を韓国籍貨物船「EVER MASAN」と特定し、松山港内において松山海上保安部等と合同で同船の立入検査を実施したところ、隠し部屋から韓国人1名を発見、同人を不法出国企図容疑で逮捕、E号乗組員7名を営利目的不法入国援助容疑で逮捕し、さらに同7名を不法出国企図幫助容疑で逮捕（再逮捕）した。

一方、警察が逮捕していた手引者1名が、福岡海上保安部で内偵捜査中の呼子港における高速小型船による韓国人不法出入国事件にも関与した事実が判明、同人の供述からもう1名の手引者を不法出国幫助容疑で逮捕、さらに同事件において不法出国した韓国人1名が正規に入国している事実を突きとめ、同人を不法出国容疑で逮捕した。



呼子港の不法出入国事件に使用された船舶



韓国籍貨物船「EVER MASAN」

### 2. カンボジア籍貨物船イラン人不法入国事件

6月、稚内海上保安部は、稚内港に入港したカンボジア籍貨物船「SARGAN」に対し関係機関と合同で立入検査を実施したところ、船内居室において乗組員名簿に記載のない2名のイラン人を発見、警察が同2名を不法入国容疑で逮捕し、稚内海上保安部が乗組員5名を集団密航助長容疑で逮捕した。



カンボジア籍貨物船「SARGAN」



不法入国者の発見場所

### 3 . 中国籍貨物船中国人乗組員不法入国事件

2月、門司海上保安部下関海上保安署は、下関港に入港した中国籍貨物船「YI XIN 9」の立入検査を実施し、乗組員の船員手帳等を精査したところ、乗組員8名のうち2名の船員手帳について偽造の疑いを認め、同2名を不法入国容疑で逮捕した。



中国籍貨物船「YI XIN 9」



偽造船員手帳

### 4 . ベリーズ籍貨物船中国人潜伏密航事件

4月、千葉海上保安部は、船舶代理店から「市原航路沖に錨泊中のベリーズ籍貨物船「GUANG XING」において同船乗組員が中国人らしい密航者2名を発見した。」旨の通報を受け、同船に捜査官を向かわせ事情聴取した結果、密航者と思われる2名が、中国から密航してきたことを認めたことから、同2名を不法入国容疑で逮捕した。その後の捜査により G 号乗組員2名の関与が判明、同2名を営利目的集団密航助長容疑で逮捕した。



ベリーズ籍貨物船「GUANG XING」



不法入国者の潜伏場所